

挑戦社

オンリーワンの

Only ONE

第4回

「人を創ればモノが創れる」
将来を見据えた人材育成で世界の市場へ

石光工業

【本社 愛知県あま市甚目寺山王 35】

自動車エンジン周りのシャフト部品やバルブ部品などの精密切削加工メーカーとして高いシェアを誇り、海外三カ国にも工場を擁し、世界的布陣を怠らない石光工業（石原政則社長）。一方で人材育成のためのトレーニングセンター「集学舎」を社内にかけて全社員技術者づくりを目指すと共に社員の多様な文化・スポーツクラブ活動への支援も活発で、多彩なイベントも盛ん。「人間性のある技術集団」づくりを心がける石原社長に話を聞いた。

—— 御社の事業概要を教えてください。

自動車の精密切削部品加工が業務で鉄・ステンレス材料を工作機械で削り顧客の求める姿形に加工。主な部品はエンジン周りの電子スロットルボディーのシャフト（軸）。同ボディーはドライブバーによるアクセルの踏込や各種

センサーからの情報をエンジン制御コンピュータが出す指令で吸入する空気量を調節する装置。またエンジン内に吸入された空気に燃料を霧状に噴射するインジェクター部品も製造。クルマの排気量によって異なるが、わが社の部品は約五〇〇種。大きさは外径一〇mm前後が基本で小は三mmから大は二〇mmまで。生産量は月産一三〇〇万個前後。年商は六一億五〇〇〇万円。同スロットルシャフトのシェアは国内で六〇%、世界で一五%を占めている。

—— それらを国内の愛知県内五、三重県内五の計一〇カ所で製造。

一方、海外では北米・メキシコや東南アジア・タイ、欧州・チェコの工場で同系統の製品を製造しているが、将来を見据え国内と合わせて四極体制の確立を中期スローガンに掲げている。

—— 御社の特色・強みは？

他社がやらないことができることを目指しているが、製品がミクロン単位の精密小物切削加工で設備もそうだが、何より人の技術レベルが高いこと。一番重要なのは人。現場作業者は分らないで機械操作しては駄目で、図面見てプログラム組めて、などのレベルが必要。当社では最低でも社内技能検定のC級クリアが必要で全員が取得済み。

人材育成のため、あま市内の工場に石光学園トレーニングセンター「集学舎」（三三〇㎡）を設け、学習用の各種設備計九台を設置し、業務時間内に基礎教育約一七日間、実地教育約三〇日間、その他などの研修・実習を行っている。ちなみにC級は実地教育の初級検定。二〇〇七年から体系的に進められるようになったが、研修時間は年間に受講生全体で八〇〇時間。技術伝承や後継者は育っていると思っている。

一方、CS活動も盛ん。一〇年ちよつと前からだが、当時、CS活動という世間では顧客満足向